



第2章

市の現状と課題

1. 市の概況
2. 健康に関する概況
3. 健康を支える
社会環境の質の向上
4. 前期計画における目標・
指標の達成状況（最終評価）

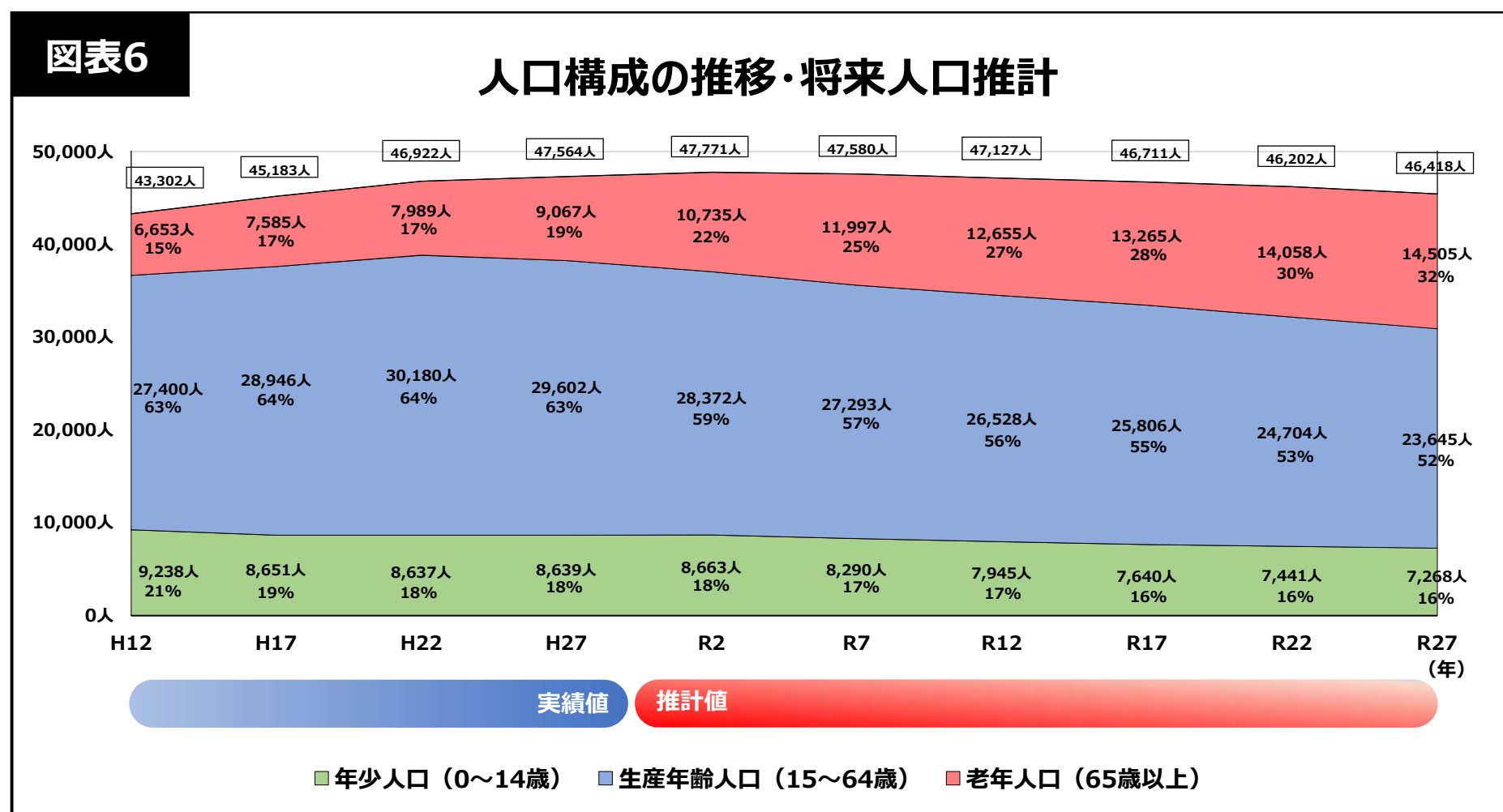
※ 本資料の令和 1 年度から令和 4 年度のデータには、当時の特殊な状況（新型コロナウイルス感染症など）に起因する外れ値が一部含まれております。ご注意ください。

1. 市の概況

(1) 人口

ア. 人口の推移・推計

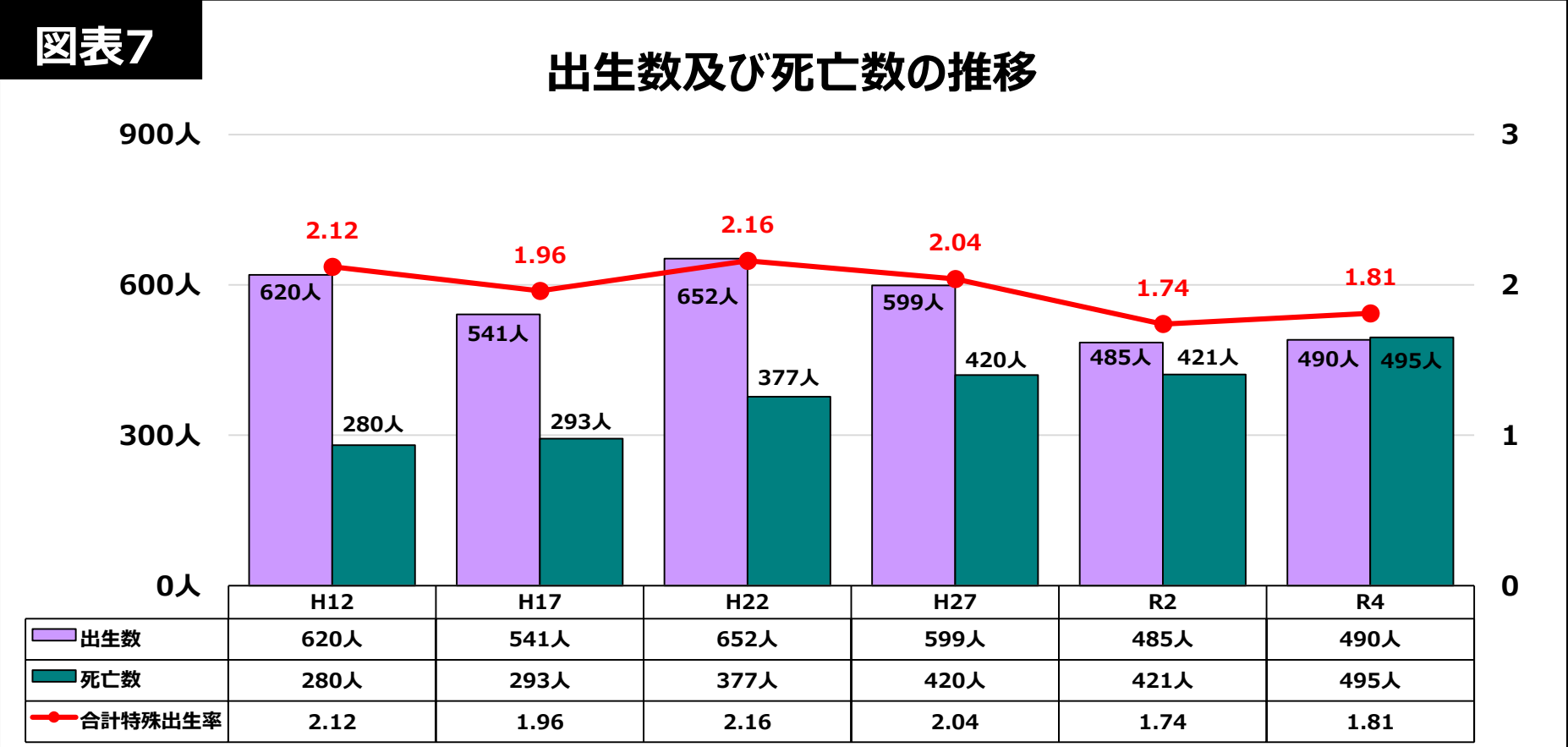
現在の総人口は増加傾向にあり、令和2年には47,771人となっています。推計値をみると令和7年以降には人口減少となり、令和27年の総人口は46,418人。高齢化率は32%と予測され老年人口は増加します。（図表6）



出典：第2期 石垣市地域創生総合戦略（令和3年3月発行）

イ. 出生数及び死亡数の推移

出生数及び死亡数は、令和 4 年に死亡数が出生数を上回りました。合計特殊出生率は低下傾向となっています。（図表 7）



出典：地域経済分析システム 合計特殊出生率保健所概要

合計特殊出生率とは？

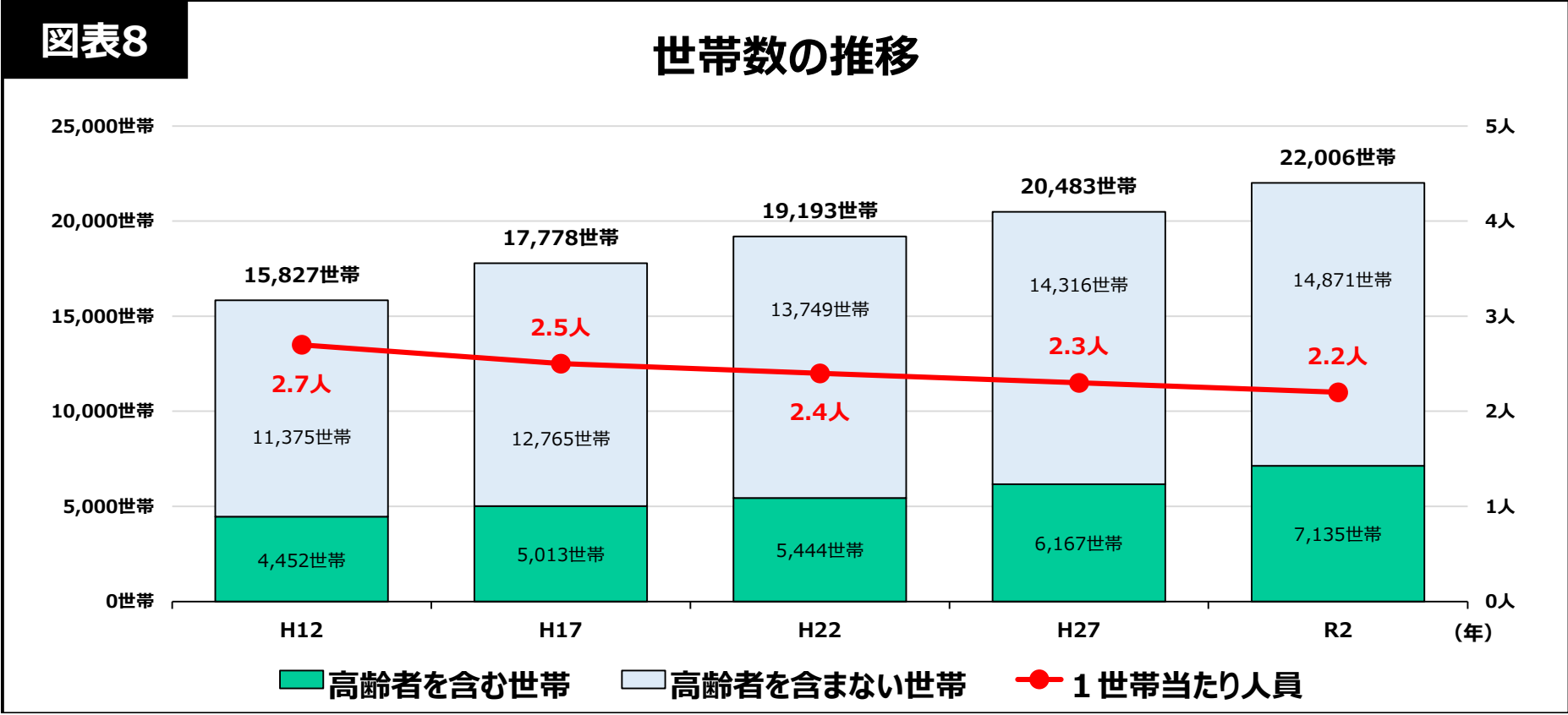
1 人の女性が 15～49 歳の間に産む子どもの平均数を示し、人口の増減を予測する重要な指標です。この値が 2.1 を下回ると、長期的には人口減少につながるとされています。



ウ. 世帯数・高齢者世帯数の推移

(ア) 世帯数の状況

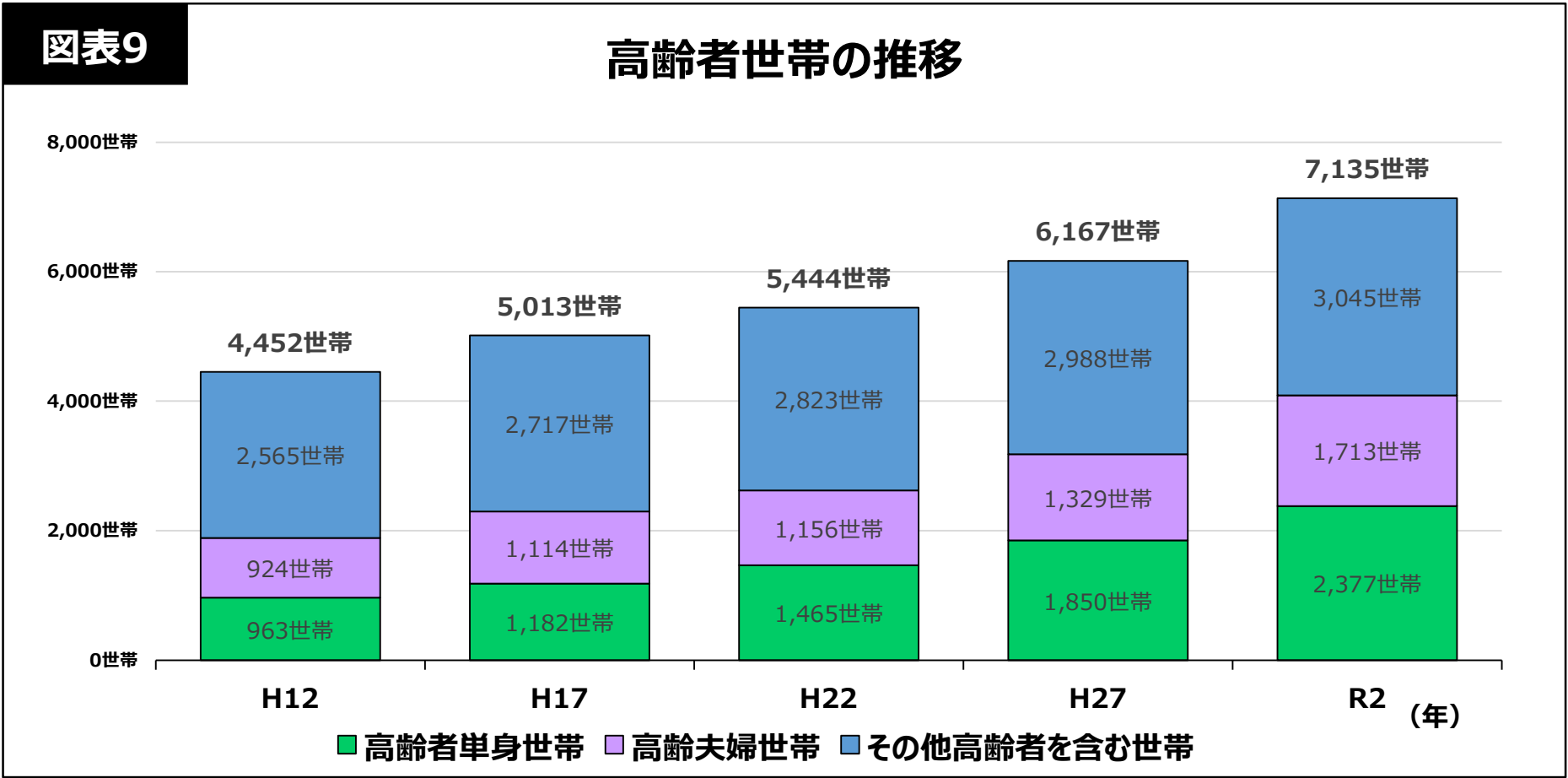
本市の世帯数は年々増加し、令和 2 年には 22,006 世帯となっていますが、1 世帯当たり人員は減少が続き 2.2 人です。（図表 8）



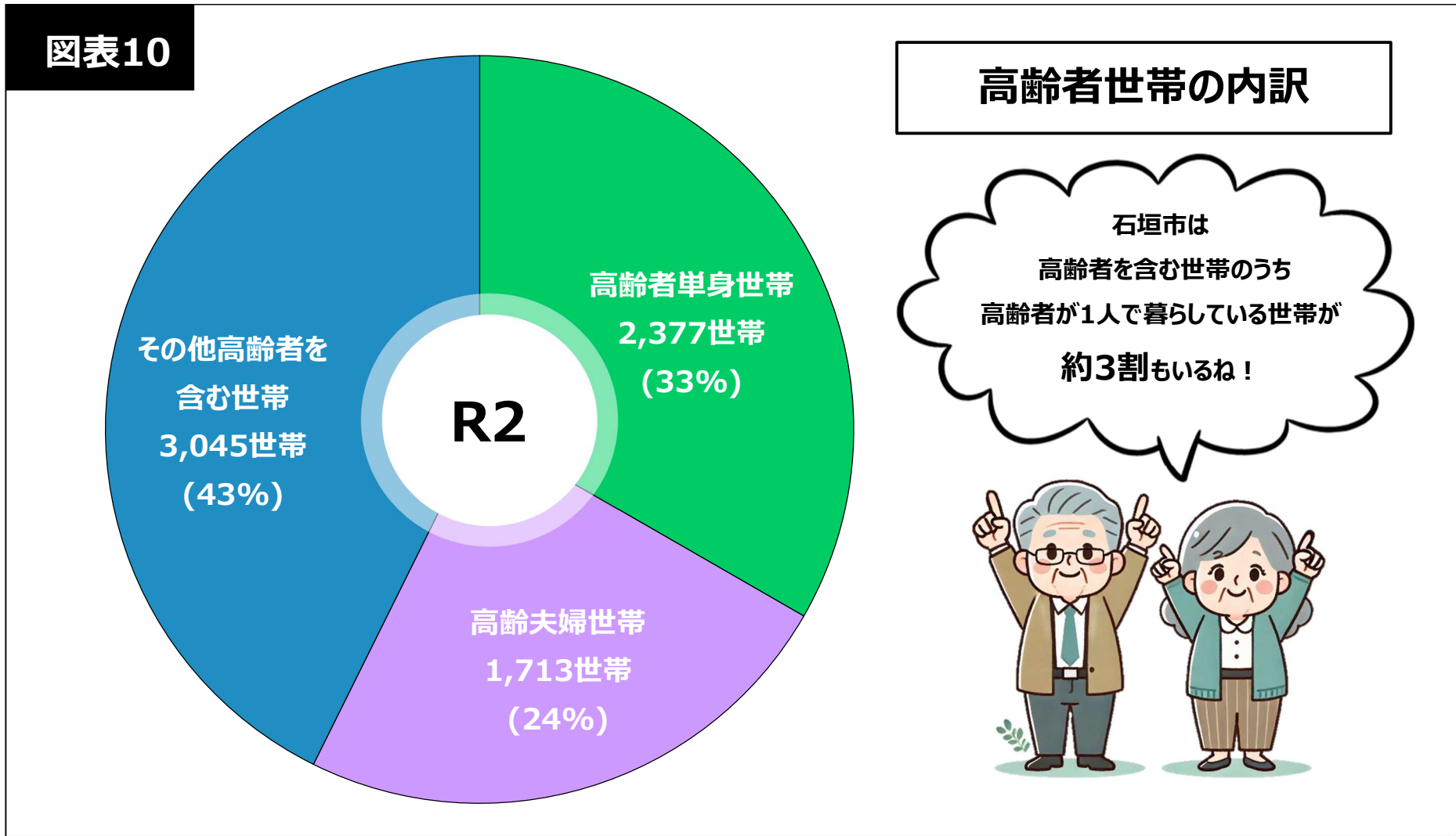
出典：（世帯数）国勢調査（世帯人員）統計いしがき

(イ) 高齢者世帯の推移

高齢者単身世帯数も同様に増加が続き、令和 2 年には 2,377 世帯となり、単身世帯が高齢者世帯の 33%を占めています。（図表 9）（図表 10）



出典：国勢調査



出典：国勢調査

エ. 産業別就業者の割合

令和３年の産業別就業者の割合は、第３次産業の就業者が全体の７８.４％を占めています。次に第２次産業が１２.４％、第１次産業が１.３％の順となっています。第３次産業の中でも特に多いのは、卸売業、小売業卸売業、小売業の１６.９％、宿泊業、飲食サービス業の１６.３％となっております。

(図表 11)

【図表 11】 令和３年 産業（大分類）別就業者の割合

	石垣市		沖縄県	全国
	人	割合	割合	割合
第1次産業	291	1.3%	0.6%	0.7%
農業	239	1.1%	0.5%	0.6%
林業	25	0.1%	0.0%	0.1%
漁業	27	0.1%	0.0%	0.1%
第2次産業	2,858	12.4%	11.8%	20.1%
鉱業，採石業，砂利採取業	56	0.2%	0.1%	0.0%
建設業	1,565	6.8%	6.9%	6.0%
製造業	1,237	5.4%	4.9%	14.1%
第3次産業	18,026	78.4%	81.9%	75.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	108	0.5%	0.5%	0.4%
情報通信業	170	0.7%	2.2%	3.2%
運輸業，郵便業	1,197	5.2%	4.4%	5.3%
卸売業，小売業卸売業，小売業	3,878	16.9%	18.3%	18.6%
金融業，保険業	220	1.0%	1.9%	2.4%
不動産業，物品賃貸業	681	3.0%	3.1%	2.6%
学術研究，専門・技術サービス業	869	3.8%	3.3%	3.6%
宿泊業，飲食サービス業	3,740	16.3%	11.1%	7.5%
生活関連サービス業，娯楽業	1,176	5.1%	3.8%	3.5%
教育，学習支援業	1,232	5.4%	6.4%	5.4%
医療，福祉	3,362	14.6%	18.3%	14.2%
複合サービス事業	215	0.9%	0.8%	0.7%
サービス業（他に分類されないもの）	1,178	5.1%	7.9%	8.5%
公務（他に分類されるものを除く）	1,816	7.9%	5.6%	3.2%
総数	22,991	100.0%	100.0%	100.0%

出典：令和３年経済センサス

(2) 市財政状況に占める社会保障費

ア. 一般会計決算額

直近４年間の一般会計決算額の歳出は、民生費（障がい者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などの経費）が１位を維持しており、総歳出額に占める割合も毎年増加し続けています。

（図表 12）

【図表 12】一般会計決算額

（千円）

年度	区分	決算額	割合上位		
			1位	2位	3位
R2	歳入 総額	39,447,936	国庫支出金（29.9%） 11,793,203	地方交付税（17.8%） 7,024,382	市税（15.6%） 6,161,616
	歳出 総額	37,884,854	民生費（32.1%） 12,162,625	総務費（29.6%） 11,208,301	教育費（8.0%） 3,028,899
R3	歳入 総額	40,943,031	国庫支出金（25.5%） 10,442,011	地方交付税（18.7%） 7,653,419	市税（14.8%） 6,076,705
	歳出 総額	39,667,304	民生費（35.4%） 14,049,379	総務費（19.5%） 7,750,286	教育費（10.5%） 4,167,651
R4	歳入 総額	35,221,350	国庫支出金（23.5%） 8,286,283	地方交付税（22.3%） 7,864,352	市税（18.8%） 6,608,550
	歳出 総額	33,955,190	民生費（38.1%） 12,950,285	総務費（15.6%） 5,309,774	土木費（11.9%） 4,030,887
R5	歳入 総額	36,191,567	地方交付税（22.1%） 8,007,259	国庫支出金（20.8%） 7,536,929	市税（18.8%） 6,805,898
	歳出 総額	35,194,364	民生費（38.6%） 13,575,426	総務費（14.0%） 4,938,270	衛生費（9.8%） 3,450,633

出典：「石垣市会計別歳入歳出決算及び基金の運用状況審査意見書」（石垣市監査委員）

イ. 社会保障費

社会保障費を見ると、前年対比で減少している項目もありますが、全体的に増加傾向にあります。

（図表 13）

【図表 13】社会保障費

（千円）

年度	生活保護費		国保給付費		介護給付費	
		伸び率		伸び率		伸び率
R3	2,092,771	6.0%	4,011,184	10.1%	3,458,823	2.7%
R4	2,075,286	-0.8%	4,147,668	3.4%	3,514,029	1.6%
R5	2,110,003	1.7%	4,016,402	-3.2%	3,669,940	4.4%

出典：「石垣市会計別歳入歳出決算及び基金の運用状況審査意見書」（石垣市監査委員）

(3) 保険・医療について

イ. 国民健康保険・医療費の状況

(ア) 国保の加入状況

国保加入率は令和 4 年 32.1%で、被保険者数は 年々減少傾向となっています。

年齢構成については 65～74 歳の前期高齢者が 約 28.7%を占めていて、平成 30 年と比較すると増加傾向にあります。（図表 14）（図表 15）

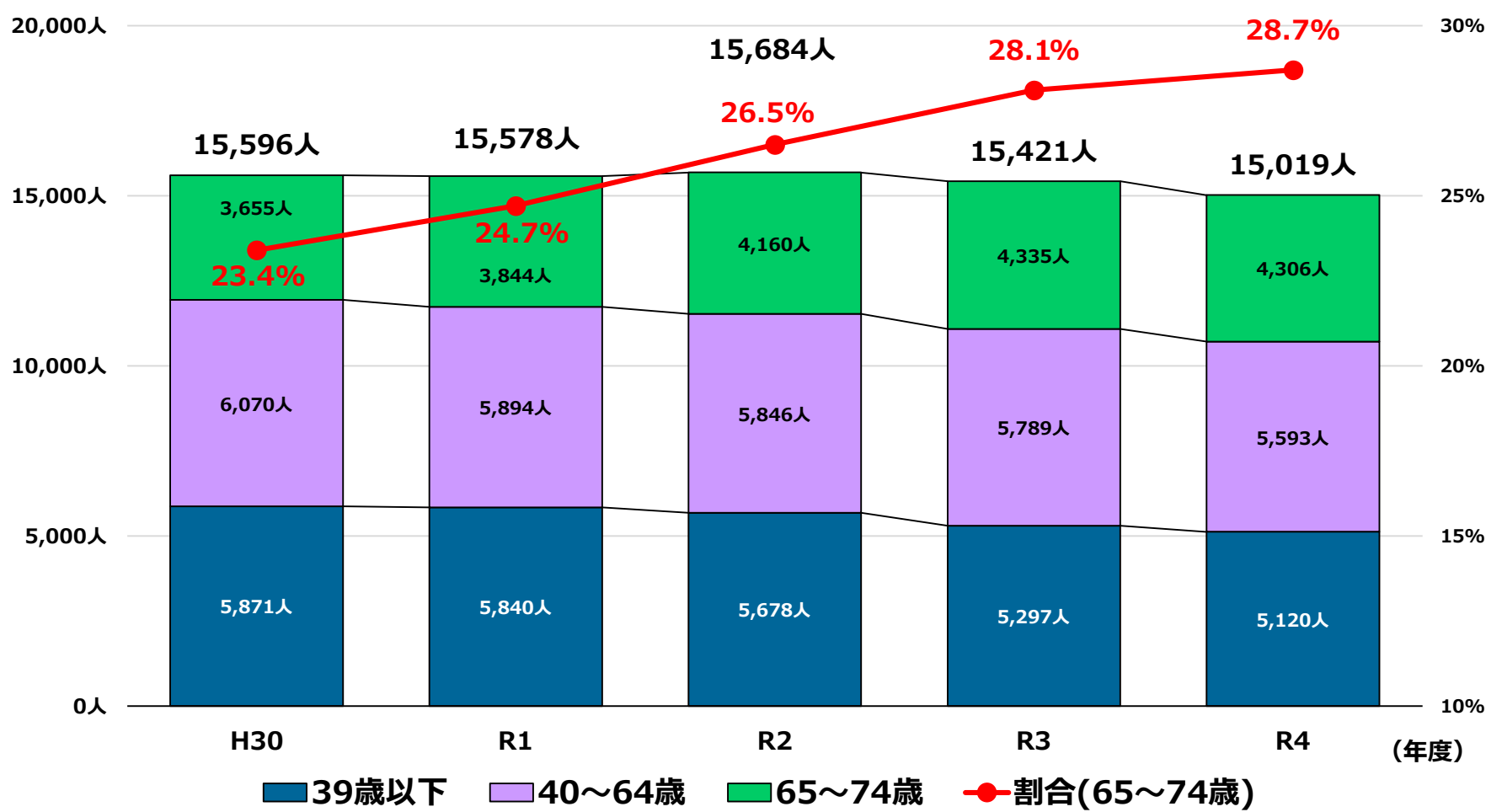
【図表 14】国保の加入状況

年度	H30		R1		R2		R3		R4	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
被保険者数	15,596		15,578		15,684		15,421		15,019	↓
65～74歳	3,655	23.4	3,844	24.7	4,160	26.5	4,335	28.1	4,306	↑
40～64歳	6,070	38.9	5,894	37.8	5,846	37.3	5,789	37.5	5,593	
39歳以下	5,871	37.6	5,840	37.5	5,678	36.2	5,297	34.3	5,120	
加入率	33.0		32.9		33.2		32.6		32.1	↓

出典：KDB システム改変（地域の全体像の把握）

図表15

国保の加入状況と前期高齢者の加入率の推移 (65～74 歳)



出典：KDB システム改変（地域の全体像の把握）

(イ) 医療費の状況

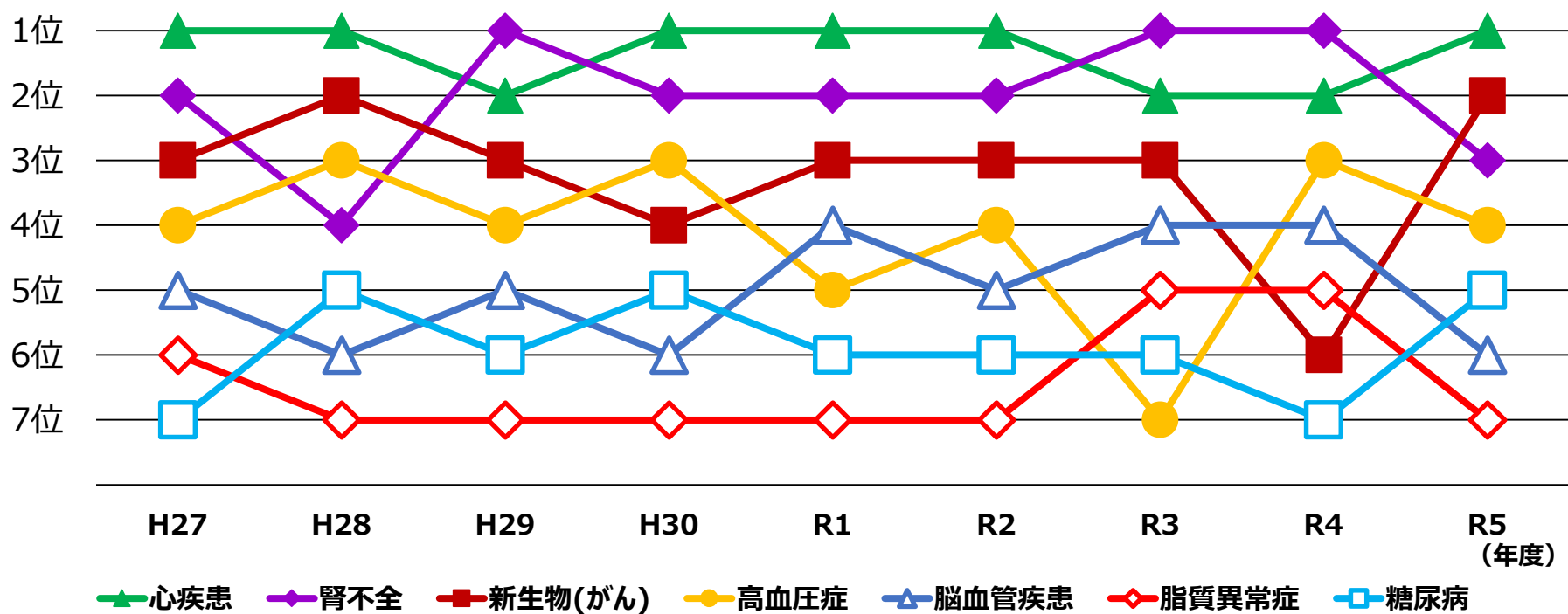
1 件当たりの入院単価疾患別の医療費ランキングを経年でみると、9 年中 6 年心疾患が 1 位と多く、次いで 9 年中 3 年に腎不全が 1 位となっています。

1 件当たりの外来単価は、腎不全、悪性新生物、心疾患、糖尿病、高血圧症の順となっています。

1 件当たりの入院・外来の単価を比較すると、入院が外来の約 3～8 倍高く推移しています。1 件当たりの外来単価の内訳は、腎不全が高額になっています。（図表 16）（図表 17）（図表 18）

図表16

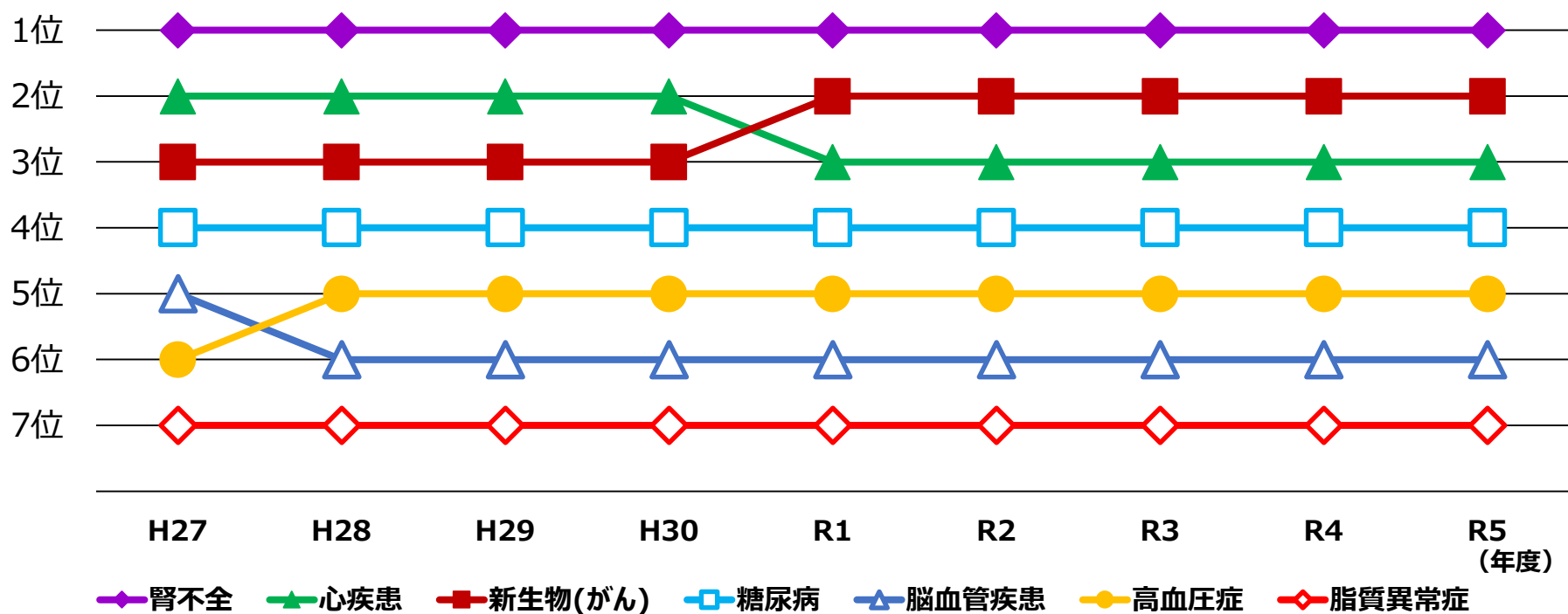
生活習慣病等受診状況（1件当たりの入院単価）



出典：KDB システム改変（健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）

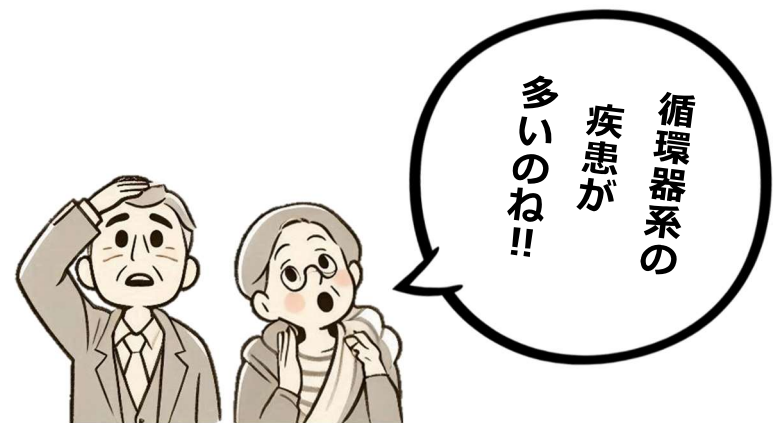
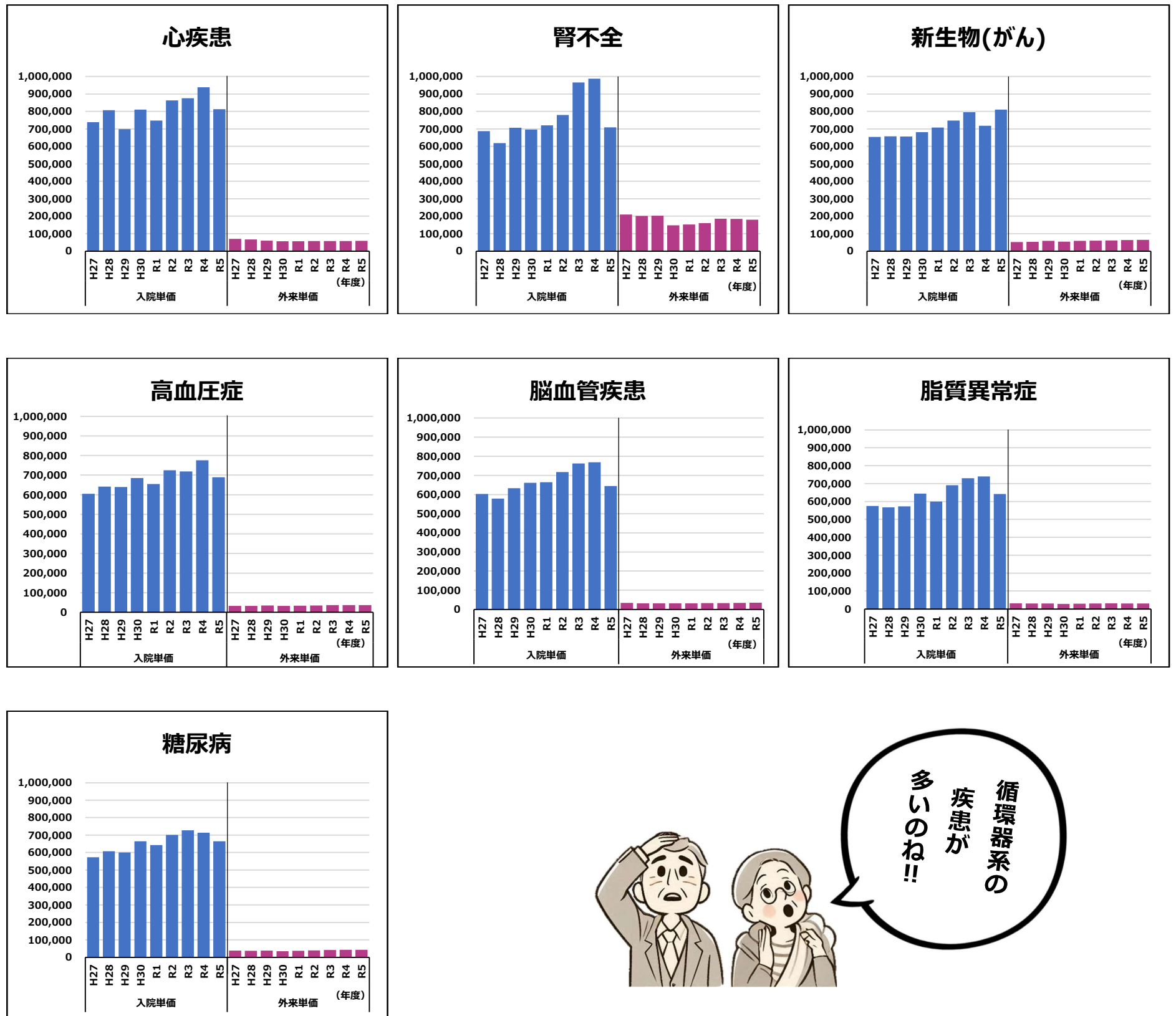
図表17

生活習慣病等受診状況（1件当たりの外来単価）



出典：KDB システム改変（健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）

【図表 18】 疾患別入院費と外来費の比較



出典：KDB システム改変（健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）

イ. 介護の状況

(ア) 介護が必要となった要因（40～64 歳の第 2 号被保険者のみ）

脳血管疾患が要因で介護が必要となった者の割合が最も多く、令和 1 年から令和 5 年のすべての年において約半数で推移しているが年々減少傾向です。二番目に多いのはがん（末期）となっていて増加傾向です。（図表 19）

【図表 19】 介護が必要となった要因

年度	R1	R2	R3	R4	R5
1 位	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患
	41人 (60.3%)	29人 (53.7%)	26人 (42.6%)	45人 (48.4%)	26人 (52.0%)
2 位	がん (末期)	がん (末期)	がん (末期)	がん (末期)	がん (末期)
	7人 (10.3%)	7人 (13.0%)	14人 (23.0%)	18人 (19.4%)	12人 (24.0%)
3 位	パーキンソン病関連疾患	パーキンソン病関連疾患	糖尿病合併症	糖尿病合併症	糖尿病合併症
	6人 (8.8%)	6人 (11.1%)	7人 (11.5%)	11人 (11.8%)	2人 (4.0%)
総数	68人	54人	61人	93人	50人

出典：「介護認定審査会実績」（八重山広域市町村圏事務組合）

(イ) 要介護度別 介護が必要となった要因（40～64 歳の第 2 号被保険者のみ）

第 2 号被保険者の要介護 2 以上の支援を必要となった者の割合が、全体の半数以上を脳血管疾患が占めています。（図表 20）

要因第 1 位の「脳血管疾患」介護認定を受ける方は
重度の介護を要する人が多いようですね。



【図表 20】 要介護度別 介護が必要となった要因（ 要因 1 位のみ ）

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	脳血管疾患の 要介護2以上
R1	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	23人/40人中
	3人/5人中	9人/15人中	5人/10.人中	4人/6人中	8人/10人中	7人/9人中	4人/9人中	
R2	脳血管疾患	脳血管疾患	がん(末期)	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	19人/27人中
	4人/8人中	3人/9人中	2人/5人中	4人/11人中	8人/9人中	4人/5人中	3人/6人中	
R3	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患 がん(末期)	脳血管疾患 がん(末期)	脳血管疾患 糖尿病合併症	脳血管疾患 がん(末期)	脳血管疾患 がん(末期)	11人/25人中
	6人/9人中	5人/9人中	各3人/7人中	各3人/9人中	各2人/6人中	各3人/11人中	各3人/7人中	
R4	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	28人/44人中
	6人/7人中	5人/7人中	5人/12人中	4人/14人中	9人/20人中	9人/18人中	6人/14人中	
R5	脳血管疾患	脳血管疾患	がん(末期)	脳血管疾患 がん(末期)	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	19人/24人中
	1人/1人中	2人/5人中	各5人/11人中	各4人/13人中	6人/7人中	6人/8人中	3人/4人中	

※【図表 20】 人数表記について

出典：「介護認定審査会実績」（八重山広域市町村圏事務組合）

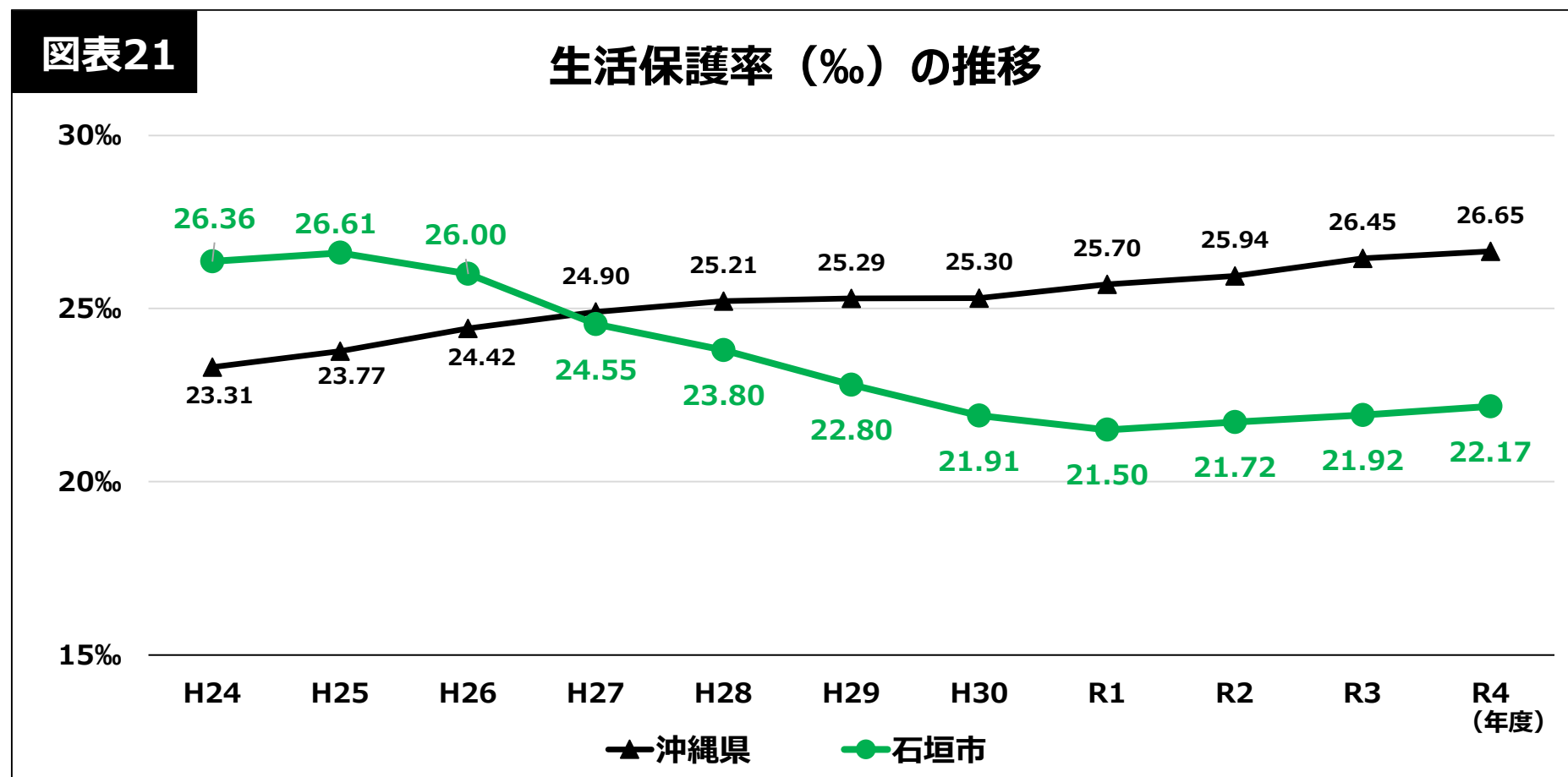
該当疾患の人数/要介護認定を受けている人数

例：令和 5 年度 要介護 5 を受けている者が 4 人おり、そのうち 脳血管疾患が要因となり要介護 5 をうけている者は 3 人です。

ウ. 生活保護

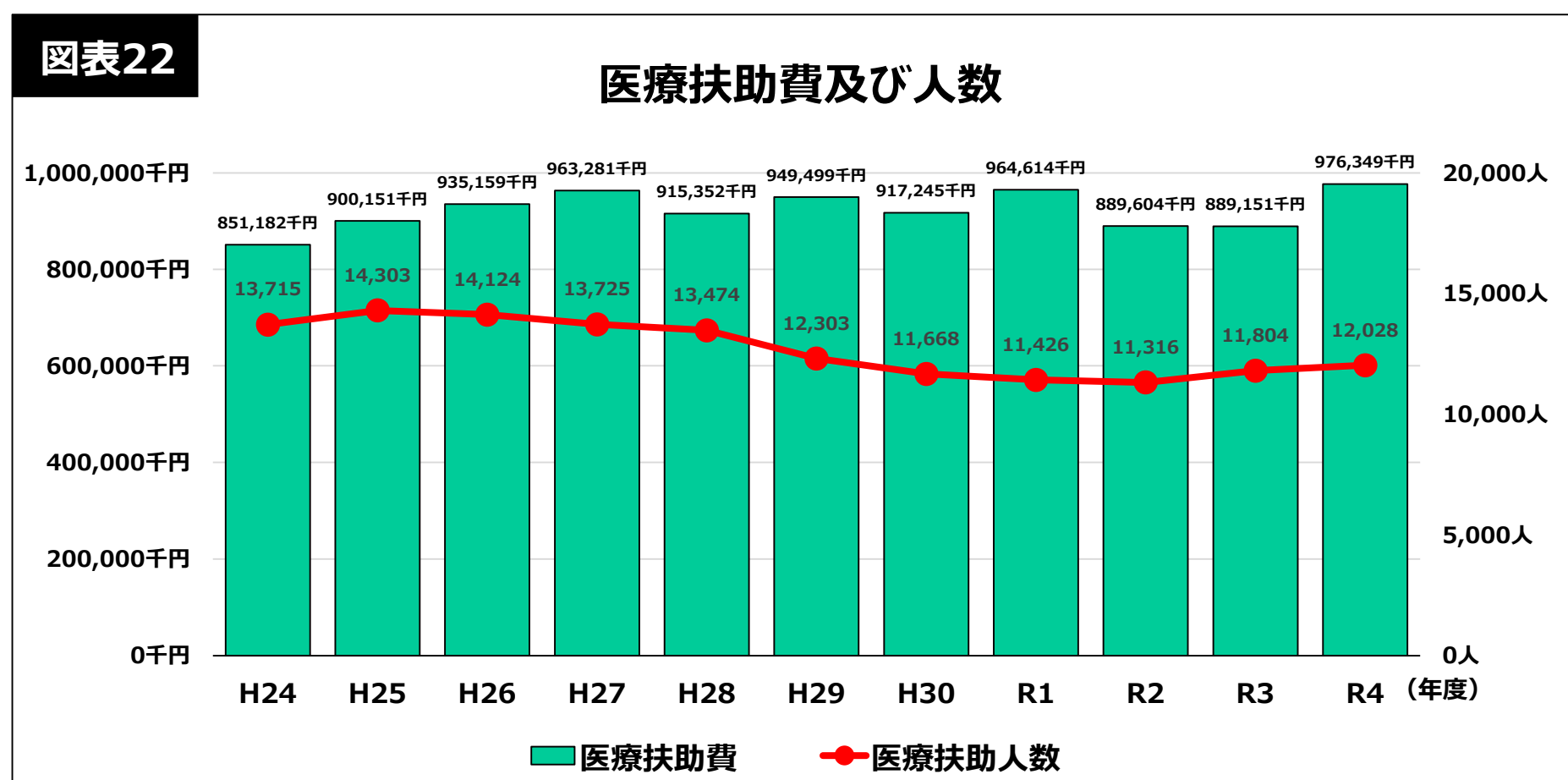
(ア) 生活保護率の推移

生活保護率は、令和 2 年以降増加傾向です。（図表 21）



(イ) 医療扶助費及び人数

医療扶助及び人数を見ると、令和 4 年度の医療扶助費は 976,349 千円、人数は 12,028 人となっており、一人当たりの平均費用は約 82,000 円となっています。人数は増減がありますが、医療扶助費は増加傾向となっています。（図表 22）



(ウ) 生活保護開始理由別の世帯状況の推移

令和 4 年度の生活保護開始理由をみると「傷病によるもの」が 69 世帯（50.0%）「傷病によらないもの」が 53 世帯（38.4%）、「転入」が 3 世帯（2.1%）となっています。（図表 23）

【図表 23】生活保護開始理由別の世帯状況の推移

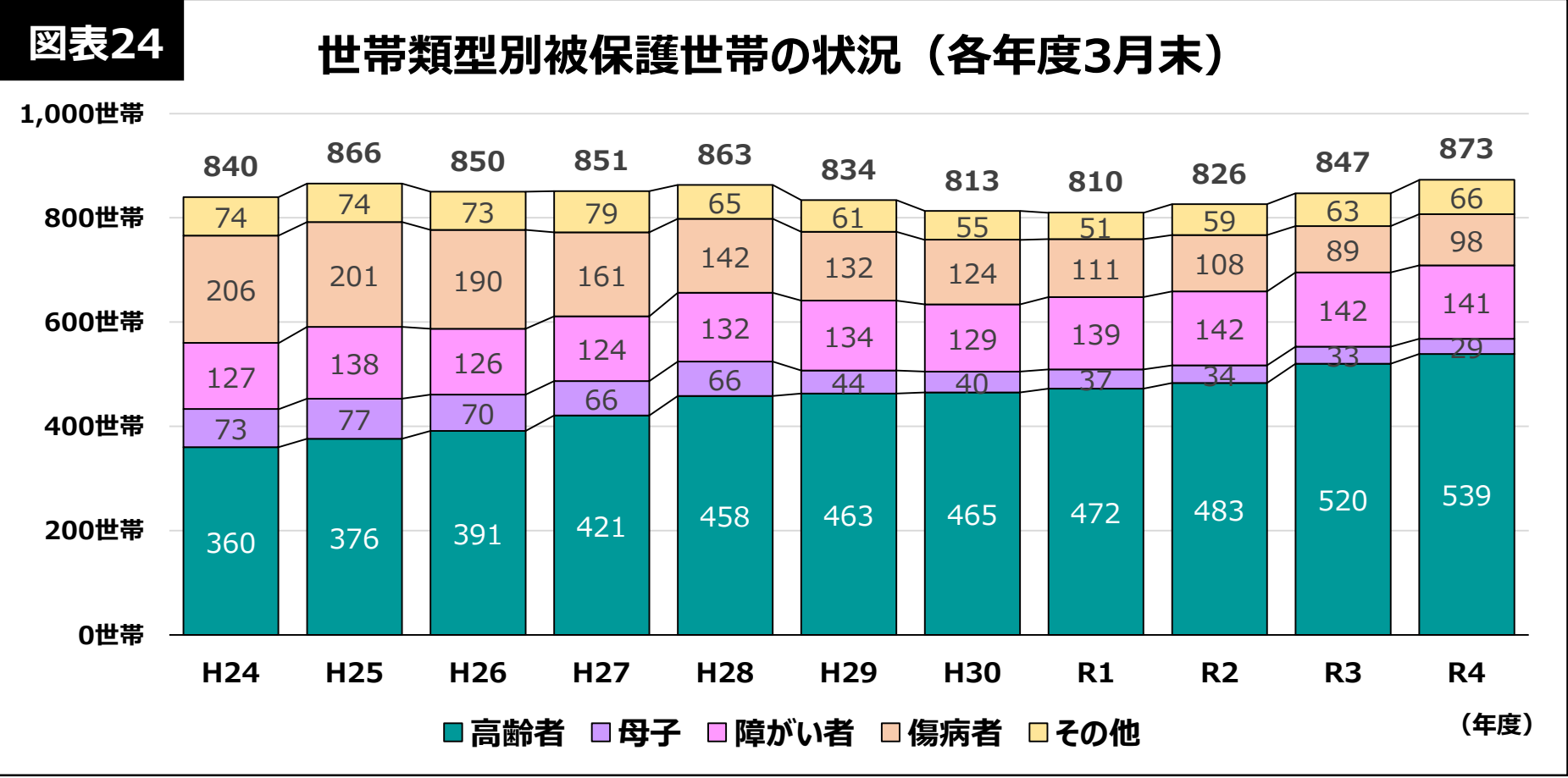
（世帯数：年計）

開始理由	H24度	H25度	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	R1度	R2度	R3度	R4度	沖縄県 R4度
傷病によるもの	61 45.8%	40 35.3%	49 36.8%	34 27.2%	47 42.3%	38 43.1%	36 43.3%	47 54.6%	41 36.9%	41 33.0%	69 50.0%	1,399 32.3%
傷病によらない	63 47.3%	62 54.8%	71 53.3%	69 55.2%	43 38.7%	29 32.9%	36 43.3%	21 24.4%	43 38.7%	54 43.5%	53 38.4%	2,287 52.9%
	転入											
	6 4.5%	5 4.4%	12 9.0%	3 2.4%	5 4.5%	2 2.2%	3 3.6%	1 1.1%	5 4.5%	2 1.6%	3 2.1%	441 10.2%
その他	9 6.7%	11 9.7%	13 9.7%	22 17.6%	21 18.9%	21 23.8%	11 13.2%	18 20.9%	27 24.3%	29 23.3%	16 11.5%	633 14.6%
合計	133	113	133	125	111	88	83	86	111	124	138	4,319

出典：「福祉の概要」（石垣市福祉事務所）
「沖縄県の生活保護」（沖縄県子ども生活福祉部 福祉政策課）

(エ) 世帯類型別被保護世帯の状況

世帯類型別被保護世帯の状況をみると、高齢者世帯が最も多く、次に障がい者世帯となっており、いずれも増加傾向となっています。（図表 24）



出典：「福祉の概要」（石垣市福祉事務所）